



火の柱

Friends of Jesus 2022.9.30

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②負しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を尊ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「分断と平和・夏期聖修会を終えて」 1p「網を繕う者となったヨハネ」鈴木武仁・ 2p「賀川豊彦に見る断絶と平和」大野剛 3p「キリストは道・真理・命」寺尾貞亮 4p「夏期聖修会報告」長谷川 会員情報 高島史弘 「会計報告」小野島正彰

網を繕う者となったヨハネ

イエスの友会会長 鈴木武仁



コロナ禍だけではなく、土石流、洪水、地震、噴火などの自然災害や戦争、暗害などの物騒な出来事も人との関係を分断しています。漁師ヨハネが破れ分断、切断した網の修復作業に従事したように私たちもまた取り組んでいかねばなりません。彼は後日、教会の破れを繕う者となりました。

プーチン大統領によるウクライナ侵攻と許しがたい暴虐、米国によるイスラムのテロリスト暗殺、安倍晋三元総理の暗殺と元・統一教会と自民党の悪行。これらの罪と悪と悪魔たちの所業はなぜ起きたのでしょうか。イエスは「敵を愛し迫害する者のために祈れ」(マタ5・44)と言います。敵(悪魔)を愛する気持ちを持つ事を強いられる命令で、これを実践するのは私たちの意識の背後にある神の働きを肯定しなければ理解できるものではありません。事件の興奮から距離を置いて、批判は主イエスに任せ、彼等どのような内在的論理が働いたのかを理解するように努め、心を柔和にして耳を傾けなければなりません。

第一は、ロシアの脅威です。ウクライナ危機の勃発は、二〇一三年十一月のキエフ(キエフ)のマイダンでヤヌコビッチ大統領の裏切りに民衆が激怒した事件で、

二〇一四年二月には大統領はロシアへ亡命し、国家は分断したのです。いわゆる「マイダン革命」です。三月にロシアはウクライナ半島のクリミア半島へ侵攻し、実効支配しました。万が一、ウクライナに親欧米政権が樹立し、NATO(北大西洋条約機構)に加盟すればロシアの軍事、宇宙産業に関する機密情報がすべて米国に流れ去ってしまう。なんとしてでも阻止しなければならなかったのです。

一九九一年、ゴルバチョフの時代にソ連は崩壊し、ロシア連邦が成立し、再びウクライナで民族解放運動が起こり、「マインダン革命」へとつながっていくのです。このような中で、二〇一四年三月、ロシアはクリミア半島を併合したのです。新政権に反発したのはクリミアのほかウクライナ東部(ドネツク州、ルハンスク州)の新ロシア勢力でした。プーチン大統領とウクライナ中央政府のポロシェンコ大統領は停戦協定にて合意し、自治権を認める決議をしたのですが、このミンスク合意は破綻したままです。

ウクライナのゼレンスキー大統領(二〇一九年就任)は腐敗したポロシェンコ政権に打ち勝って誕生したがロシアとの和平は進まず、国内経済の改善もなく国民はそっぽをむき出し、支持率は下落し、危機感に迫られた政権は二年一〇月以降、クリミアから新ロシア派武装勢力の追い出しにかかり、自爆型ドローン(無人攻撃機)で攻撃しだし、これがロシアを刺激し、喉元に匕首(あいくち)を突きつけられたロシアは、二〇二二年二月二十四日、ロシア軍がウクライナに侵攻することになったのです。国家主権を侵害する行為をなし、ロシアは世界中の国を敵に回し、

経済制裁を受けています。しかしまだ倒れずにいるロシアは日本にとって現実的な「脅威」となっています。

第二は、共産主義の脅威です。この6月、安倍晋三元総理が暴漢に襲われ刺殺されました。『宗教年鑑』ではキリスト教系に分類されている宗教団体である元統一教会と濃密な関係にあったことを恨みでの反抗とのことです。自民党とその団体とは濃密な関係にあったことは周知の事実です。戦後、A級戦犯とされた岸信介、児玉譽士夫、笹川良一らがCIAの傘下で免罪となり釈放されて元・統一教会の創設者・文鮮明を日本に招き、自民党と結び付け、同じグループの勝共連合を支え、米ソの冷戦下で「脅威」となっていた共産主義勢力の防波堤として用いたのです。

赤軍派、革マル派、中核派、社学同、社青同、民青などが活躍した六十年代、七十年代、「政治の季節」でした。やがて児玉譽士夫はロッキード事件で離れ、笹川良一は去りました。当該宗教団体が集めた金銭の多くは黒幕である自民党への政治献金となっていたのです。彼らは潤滑油として用いられてきたのです。安倍元総理はじめ自民党のなした戦後政治史を鑑みて、平和憲法を破壊するような政策をなしてきた安倍元首相を「国葬」となすべきかどうかは再考すべきことです。

これらの戦争による対立、戦後政治史の自民党と諸宗教団体や日本会議などのもたらした分断は、愛と赦しによって償われ、修復されて行かねばならないことでしょう。神の火をくわえた火の鳥が飛び立ち、分断されたロシア、ウクライナの教会と日本中の神社、仏閣、政党に、贖いのしるしの十字架が掲げ、破れを繕うヨ

ハネのような人々が現われることを願うものです。

賀川豊彦に見る

「断絶と平和」



大野 剛
日米間に暗雲が漂っていた1941年4月、賀川豊彦、阿部義崇ら一行9名はキリスト教平和使節団として訪米した。日米キリスト者会議において、米国から多くの宣教師を派遣され財政的にも支援されたことへ感謝を伝えると共に、日本基督教団設立の経緯を報告するためであった。彼はその足で5年前米政府に招かれた時の人脈を活かして、日米間の平和を説いて回った。

他方水面下では7月、近衛文麿首相とルーズベルト大統領がハワイで和平交渉をする手筈を整えた。だがこの話は同月陸軍の仏領インドシナ進駐により反故となった。彼は8月、サンフランシスコを出港する最終交換船竜田丸船上で次の句を詠んだ。「悲しみを忘れて渡る太平洋、平和のつなぎ、胸に秘めて」。国家と国家を隔てる壁に直面して、断絶と闘う賀川の心情が伝わる。彼は困難な状況に置かれながら、平和を求める祈りを忘れることはなかった。12月、米国側の宣教師S・ジョーンズと連携して一週間の日米連続徹夜祈禱会を敢行した。これを果し終えた1日未明、臨

時ニュース真珠湾奇襲攻撃が報じられたのであった。

1945年、日本のポツダム宣言受諾、無条件降伏に続いて、マッカーサーが厚木に上陸した。その日8月30日、賀川は「マッカーサー総司令官に寄す」という小論文を読売新聞と日本タイムス(英字紙)に寄稿した。そこでは①天皇を存命させよ、②国民主権を認めよ、③戦争は放棄する、④戦争賠償責任の鞭を振うことなかと訴えた。この精神は象徴天皇、主権在民、戦争放棄を標榜する日本国憲法に反映されたと言えるだろう。

彼は日本国憲法の成立をことの外喜び、「人格社会主義の本質—その文化的運営」では次のように称えた。「日本の衆議院が新憲法9条を議決し、永久戦争放棄の表明をなし、世界に向かって恒久平和を提案し得る立場になったことは、文明史上かつてなき大事件である。『日本は永久戦争放棄により新しき人類文明の創造に貢献し得る可能性の鍵を把握したのである。』と。

賀川は平和国家を保持するには、内的意識の外的顕現が前提であると哲学の必要性を提唱した。キリスト教歴史哲学の立場からすれば、歴史とは神の子羊すなわち愛と犠牲による社会連帯意識を中心とする社会の発展史であり、それに反対するものは獣(暴力意思)、蛇(邪淫の感情)、蛙(偽善知識)である。それゆえに社会を造るには子羊精神すなわち社会連帯意識を極限まで延長して贖罪愛意識まで高めたキリスト

意識の外にその完成の方策はないと言う。そして贖罪愛精神に生きることを選択するならば、地上に永久の平和がくるであろうと主張した。

賀川は具体的に世界連邦を構想して、R・ハチンズらと共に世界憲法草案を発議する。現行の国際連合を改革する制度である。議決は全世界を9地区に分類して、その代表者が議決する。紛争は世界裁判所の判決に基づいて世界警察が制裁する。さらに世界経済会議を設けて人口移民問題、食料資源問題を扱う。これは70年余り前の処方箋だが、あたかも今日の社会問題対策を預言するかのよう、新鮮に響く。

賀川は18歳の時に「世界平和論」を著して日露戦争勝利に沸き立つ世相を牽制した。その後1920年代には上海経済会議の講演で中国財界人に大きな影響を与えた。30年代米国欧州講演では「友愛の政治経済学」等で、奉仕と連帯の大切さを提唱した。その後、戦争という誰もが苦しむ困難な時代の直中で、彼は状況の推移に注意深く対応しながら、「可変の社会と不変の宗教」を唱えた。立場毎に様々な意見があるのは当然のことだが、賀川の根底には常に揺るぎない贖罪愛信仰が貫かれていたのではないだろうか。



キリストは道、真理、命

ブラジル養蜂家

寺尾貞亮



「主は彼らに先立つて進み、昼は雲の柱をもって導き、夜は火の柱をもって彼らを照らされたので、彼らは、昼も夜も行進することができた。昼は雲の柱が、夜は火の柱が民の先頭を離れることはなかった。」(出エジプト13…21:22)

この度、私(寺尾)の訪日の旅は、ブラジルと日本間の35回目となります。

ブラジルは、日本の丁度、裏側にあり、距離約4万km(往復あります)。地球と月との距離は38万だそう。4万kmを35回旅すると、なんと、地球から月までの旅の往復と半分となり驚いております。この度の旅は、7月4日から11月28日までの長旅となります。旅の中の一つの出来事は、イエスの友会第97回夏期聖修会に参加を頂いたことです。まず驚いたのは、会場となった「コープ神戸」の存在です。マタイ13…3に「種をまく人が種をまきに出ていった。」と記されマタイ13…31に、「天の国は、からし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに成長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て巣を作るほどの木になる。」は真実です。

「コープ神戸」は賀川豊彦(1888年—1960年)「愛と協同の精神」によるものと信じます。1909年12月24日、21歳の豊彦は貧困にあえぐ人々のために献身しようと、当時劣悪の環境で生きること

を強いられた人々が生活する地域に入っていました。豊彦は当時死の病と恐れられていた肺病を病み、余命幾ばくもないと宣告された身体でした。貧困と差別のただ中であつて、困難を抱えた人々と共に暮らし、徹底してこれらの人々のために働いたのです。

その活動はキリスト教伝道に始まり、労働運動、農民運動、協同組合運動、保険・共済事業、平和運動、災害支援活動に発展し、私たちの暮らしを支える根幹を築くことに、その生涯を捧げました。賀川豊彦の協同組合中心思想は今日の混乱する不安な時代の中で「助け合い」の共助の組織として生協が果たすべき役割がますます重要になっています。「安全・安心」の信頼に応えること、生活防衛のための節約志向に「納得価格」でしつかりと応えること、その他のくらしの不安にも助け合いの組織として、その解決を貢献し続けることが豊彦が目指した助け合いの姿だといえます。マタイ25…14-30に主イエスは「タラント」のたとえを弟子たちに教えました。「天の国は、また次のように、たとえられる。ある人（主）が旅に出かけるとき、僕たちを呼んで自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて一人には5タラント、一人には2タラント、もう一人には1タラントを預けて旅に出かけた。」と教えました。まさしく賀川豊彦は主の御言葉を実践された主の器であられたと信じます。

神の義を求めなさい。」の御言葉の恵みを頂きました。41歳で家族（5人）と共に、大都市サン・パウロより175kmの田舎へ移り、村の子供達への日本語教師となりました。1983年に一群からの養蜂を始め、現在に至っております。また、私は6歳の時、長崎の被爆のため両耳の重度の聴力障害者です。補聴器なしでは聾ろうの状況です。毎年一度、絶対必要な補聴器を求めて、訪日の恵みを頂いております。ヨハネ14…6「イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」は真実です。

フロポリスのバイオニア
当会会員の寺尾貞亮氏が心を込めて製造した
グリーンフロポリス「長寿蜂」



一般価格 9800円をイエスの友会会員特別価格 6500円（税込み）
でご提供させて頂きます。
申し込みは東海林まで

電話：090-3689-2781
メール：info@forgrace.co.jp
ファックス：03-6869-6023

※販売協力者も募集しております。

イエスの友会第97回 夏期聖修会報告



内容としては、開会礼拝が会長鈴木武仁牧師の「不可能を行えという主の命令」の力強い奨励で始まり、続いてメイン講演の小原克博先生の「現代社会の労働をめぐる課題」というお話をお聞きました。①賀川豊彦の労働観②賀川豊彦と進化論③能力主義をめぐる現代の課題について、わかりやすく、今回の夏期聖修会の主題「貧しき者の友となりて労働を愛すること」にそって話していただきました。

夕食後の「賛美と証しの夕べ」では、ラスポーザ&スブレンダーのゴスペルグループの賛美を堪能しました。昨年に続いてのご奉仕を頂き、その証しと共に感動しつつ、全員での賛美もあって楽しいひと時でした。

二日目の早天礼拝は、小野嶋正彰牧師による奨励をお聞きしました。二日目の講演は、聖書講演会として「個別から団結、孤立から共生」と題して東海林昭雄牧師からのお話でした。クリスマスチャンのいろいろな活動が個々バラバラに行われている状況を横のつながりネットワークを築き上げて共同して行うための仕組みを構築することの大切さのお話でした。

午後は、協同学苑の中にある賀川資料館の見学とDVDによる賀川豊彦の活動の解説をしていただきました。

午後2時からは、ブラジルから帰国中の寺尾貞亮師のブラジル宣教の証しをいただき、その後、高島史弘事務局長の新婦であるリリアン宣教師の証しも聞く事が出来ました。リリアン宣教師は、イエスの友会の宣教師としても今

7月18日（月）〜20日（水）の三日間、兵庫県三木市のコープ協同学苑で開かれたイエスの友会夏期聖修会には、講師に同志社大学神学部教授の小原克博先生を迎え、20数名の参加で大変有意義に終える事が出来ました。

夏期聖修会スナップ

鈴木会長の開会礼拝奨励



後活動を頂くために、全員の牧師より
按手を受け、幸いな時となりました。
夕食後の楽しみは、ゴスペル落語で
した。「賀川豊彦・ハル物語」など、ア
マチュア宣教落語で活躍されているゴ
スペル亭パウロこと小笠原浩一さんが
和歌山市からかけつけてくださり、楽
しく、賀川豊彦やハル夫人の感動の物
語を聞く事が出来ました。
三日目の早天礼拝は金子信一牧師の
奨励。どのようにして牧師の召命を受
けるようになったかを知る事が出来ま
した。その後、Zoomを使って、日本国
際飢餓対策機構報告を近藤高史さんが
最近の様子を話していただきました。
十時からは、活動報告として、各地区
で特徴のある活動をしているグループ
の報告を受けました。①イエスの友会
三河支部②浜松長谷川保読書会③豊橋
サマリア会④イクソス会⑤NPO法人
礎の石孤児院⑥シモンコース⑦国際
文化研究所⑧日本福音学校⑨路傍伝道
ネットワークがそれぞれ活動の詳細を
報告しました。
最後は、閉会礼拝で十一時半から奨
励は副会長の長谷川勝義氏の「本当に
この人は神の子だった」でした。
昼食を学苑の広くて庭園と池の見え
る素晴らしい食堂で頂き、名残を惜し
みつつ、再会を約してそれぞれの地に
去っていかれました。祝福されて満ち足
りました三日間の夏期聖修会で主に感謝し
ます。(長谷川)



ラスポータ&スプレッダー
によるゴスペルの賛美と証

リリアン宣教師の
福音の証



寺尾貞亮師のブラジ
ルでの証



小原克博先生に
よるメイン講演



ゴスペル亭パウロこと小笠
原浩一さんの福音落語

《会員情報》

○召天者
長原武夫 2022年3月30日 享年 87才
深田未来生 2022年6月25日 享年 89才
(元 イエスの友会 顧問)
長濱耕 2022年7月23日 享年 99才
下桑谷浩 2022年8月11日 享年 89才
ブラジル アリアンサ支部長
○新人会員 平松英治 2022年7月31日
【二〇二二年度会計報告】
二〇二二年六月以降二〇二二年八月迄の
状況

食堂で一言スピーチ



「火の柱」第762号
発行人 鈴木武仁
発行所 イエスの友会本部
発行日 2022年9月30日
本部事務局 441-8016 愛知県豊橋市弥生
町西豊和4-7 高島史弘(イエスの友会 事務局
長)携帯 09069465160
メール takashima.m633@japan.email.ne.jp
郵便振込先 加名 イエスの友会本部
口座番号 0017074019809
火の柱編集 長谷川勝義
火の柱原稿メール先 bhwpc58@xi.commu.jp
〒440-0069 Tel 0532-611-400NN
愛知県豊橋市多米西町2-2012

会計担当 小野島正彰

いつもご支援を心から感謝申し上げます。
次のとおりです。

▼郵便振替口座 「〇〇一七〇一七四九
五八六」 加入者名「イエスの友会本部」
いつもご支援を心から感謝申し上げます。

▽たくさんの方から会費や献金をいただき
ました。感謝します。引き続き、各事業活動
の費用のための会費や献金をお願いします。
会費、献金、維持費、購読料等の振込先は、
次のとおりです。

◆会費納入と献金をお願い◆
◎イースター献金一名(鈴木武仁)
◎購読料(千五百円)なし
◎登録料(五百円)なし
◎百周年記念特別献金一名(長瀬潔)

◎維持費(一万二千円)三名(鈴木武仁、鈴
木諭香子、岩城輝雄、金子信一)
◎会費(三千円)十五名(鈴木武仁、小林光代、
鈴木諭香子、長瀬潔、佐野徳子、大野剛、渡
辺和郎、岩城輝雄、仲里朝治、市村和夫、鮫
島紘一、金子信一、加納武、(公財)賀川事
業団雲柱社、平松英治)

◎感謝献金一名(鮫島紘一)
◎イースター献金一名(鈴木武仁)
◎購読料(千五百円)なし
◎登録料(五百円)なし
◎百周年記念特別献金一名(長瀬潔)